

# 異議あり、 新国立競技場



## 戦後最大の愚挙を考える

2014.9.26.金 午後6時半

日本青年館 3F 国際ホール 東京都新宿区霞ヶ丘町7番1号

昨年10月、新国立競技場計画について市民の立場から発言しようと「神宮外苑と国立競技場を未来へ手わたす会」を結成し、勉強会、署名活動、外苑ウォーク、各関係機関への要望書提出、IOCとの面会等、さまざまな活動を続けてきました。しかしながら、JSCは国民の声を聞こうとせず、9月29日から解体に着手すると発表しました。抗議の気持ちを込めて、解体前としては最後となるであろう、シンポジウムを開催します。9月23日には景観学会で、10月1日には建築学会でこの問題が取り上げられますが、私たちはあくまで広く、市民・住民として共に考えていきたいと思っています。ぜひ多くの方のご参加をお待ちしています。

【神宮外苑と国立競技場を未来へ手わたす会】解体抗議声明 多見貞子

### 【第一部】引き返す勇気を JSC はもてなかった——成熟社会にほど遠い日本

「手わたす会」の目的と活動 多田君枝(編集者)

神宮外苑の歴史と景観 調整中

まるでおかしなコンクール 規制はずし 大橋智子(建築家)

改修という希望 いくつかの案から 上村千寿子(グラフィックデザイナー)

ザハ案の問題点 有害な有蓋施設か、つつましい無蓋か 中村勉(建築家)

久米設計案はなぜ隠されてきたか 渥美昌純(東京にオリンピックはいらないネット)

建築家のモラルと責任 安藤さん内藤さんにいたい 森山高至(建築エコノミスト)

誰がコストを払うのか 桑原洋一(千葉商科大学)

省庁と議会をまわって感じたこと 多見貞子(神宮外苑と国立競技場を未来へ手わたす会)

本当の狙いは神宮外苑開発? 大根田康介(ジャーナリスト)



### 【第二部】オリンピック後へ向けて——次世代にツケをまわさないために

オリンピック海外事情、ブラジル、平昌などから、清水伸子(翻訳家)

アジェンダ21と近代オリンピックの終焉 森まゆみ(作家)

都市計画制度と国の事業手続きの法的問題 日置雅晴(弁護士)

これからの本番だ 中沢新一(人類学者、明治大学野生の科学研究所所長)

霞ヶ丘アパートに住み続けたい 宇井靖子(霞ヶ丘アパート住民)

霞ヶ丘アンケート調査結果 向井宏一郎(和光大学非常勤講師)

近隣マンション住民は怒っている 宇田川滋隆(シャリエ神宮外苑 管理組合副理事長)

公共スポーツ施設の基本 鈴木知幸(元・2016年東京オリンピック招致準備担当課長)

競技場敷地の歴史と文化財調査 原祐一(東京大学埋蔵文化財調査室)

まともな環境アセスをどうさせるか 原科幸彦(千葉商科大学教授・元 IAIA(国際影響評価学会)会長)

50日しか利用されない沈黙の土木構造物でなく、365日稼働の国際子供スポーツセンター併設に 長谷川龍友(建築家・楨文彦代理)

【神宮外苑と国立競技場を未来へ手わたす会】決意声明 我々は決してあきらめない 日置圭子

マップ: <http://www.nippon-seinenkan.or.jp/access/>

要申込: 定員 200名、参加費 1,000円

▼お申込みはコチラから <http://2020-tokyo.sakura.ne.jp/>

▼お問合せはコチラから [info@2020-tokyo.sakura.ne.jp](mailto:info@2020-tokyo.sakura.ne.jp)

主催: 神宮外苑と国立競技場を未来へ手わたす会 <http://2020-tokyo.sakura.ne.jp/>